

【児童・地域の特徴】

1 児童

- ・学年を超え仲よくできる。
- ・前向きに物事に取り組む。
- ・自ら考えを持ち、粘り強く取り組む力を育てたい。

2 地域

- ・豊かな自然を生かし、知恵を出し合って自立する村づくりを推進している。
- ・知・徳・体の三位一体の人間教育を進める。
- ・下條を知り、下條を愛する子どもに育てほしい。

平成29年度 下條小学校

教育構想

(グランドデザイン)

【願う学校像】

希望と勇氣にあふれ、「ひとりだち」を目指して進む(望勇の精神)学校
(明るい声が響きあい、笑顔あふれる下條小学校)

【学校経営方針】

- 1 子ども一人一人の人格を尊重し、内なる力を伸ばし、自ら学ぶ教育を進める。
- 2 職員の和を大切にしながら切磋琢磨し、教職員としての資質の向上に努める。
- 3 教育環境の整備充実を図る。
- 4 保護者・地域に信頼され、愛される学校にする。

<学校教育目標>

自ら学ぶ子(しっかり学習)
心豊かな子(もとう思いやり)
健やかな子(めざそうじょうぶな子)

<本年度の重点> 「笑顔あふれる下條小学校」をめざして

- ① 学び合い ② 響き合い ③ 支え合い

学び合い

◎友と学び合い、表現力を高める子どもを育てる授業をめざして

①授業改善を進めるための重点的な取組

・基礎学力定着への取組

<ドリルタイム(クリア問題・チャレンジ問題への取組)、読書タイム充実(内容向上へのアドバイス)、適時の個別指導、家庭学習の充実(宿題チェック週間)、「家庭学習のてびき」の活用>

・友と学び合い、表現力を高める授業づくり

<3 観点(ねらい・めりはり・みとどけ)を意識した授業(板書の構造化)、書く活動を生かす、話し合い活動の充実(ペア・グループ活動、話し方・聞き方の例示)>

・特別支援教育の充実

<個別の学習支援体制、授業のユニバーサルデザイン化>

②児童につける力が身に付いたかどうかを評価するための検証方法

<全国学力・学習状況調査・NRT検査・PDCA調査・クリア問題・チャレンジ問題への取組等の分析と授業改善(まとめのテストで平均8割以上をめざす、平均を下回った子どもたちの得点力アップをめざす)>

③教職員の指導力向上に向けた校外研修

・保・小・中連携の充実

<職員及び幼児・児童・生徒の交流と学び合い、授業を通じた研修、小中合同学習指導研修会>



響き合い

◎明るくけじめのある児童をめざして

①さわやかなあいさつと会話

<あいさつの手本、生活目標の設定、児童会の取り組み(あいさつ週間)>

②だまり掃除・見つけ掃除

<見返し、掃除の学び合い>

③居心地のよい学級集団づくり

<帰りの会の認め合い、よいところさがし、全校音楽と学級音楽、Q-U検査の活用、集団適応の推進>

④みんなで進める運動、生活習慣づくり

<全校運動、全校で進める運動(なわとび、マラソン)、めあてを持った体育的行事、体力テストの分析、基本的な生活習慣の確立(健康チェックカード)>



支え合い

◎地域家庭と共に歩む学校をめざして

①学校・保護者・地域の三者で進める開かれた学校づくり

<カッセイカ会議の推進(地域ボランティアとの連携)、学校評価の活用、地域の声、安心安全体制作り>

②相談しやすい学校づくり<心と体の相談室(保健室)、複数の相談ルートづくり(全職員)、相談週間、外部機関との連携、積極的な情報発信>

③地域の方の思いに学ぶふるさと学習の充実

<下條ふるさと塾・ふるさと巡り、地域素材の教材、食育・キャリア教育の推進>

④異年齢集団による活動の充実

<なかよしの日、支会の遊び、姉妹学級交流、児童会集会>

